



# あいあい



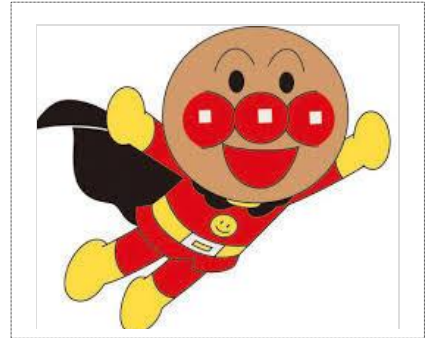
人権のお話シリーズ第400回 平成29年6月8日 津島市立南小学校

## 大好きなアンパンマンから学ぶこと

校長先生は、アンパンマンが大好きです。  
アンパンマンは友達を大切にします。  
アンパンマンはいつも戦（たたか）う  
ばいきんまんや ドキンちゃんに対しても、やさしいのです。  
ばいきんまんの命をとるようなことは けっしてしません。  
「そんなことをしてはダメだよ」と語りかけます。  
このお話は 人が正しいことを行うときには、  
かならず いたみがともなうことを 教えてくれます。

「そうだ うれしいんだ 生きる よろこび  
たとえ 胸（むね）の傷（きず）がいたんでも

なんのために 生まれて なにをして生きるのか  
こたえられないなんて そんなのは いやだ！



今を生きることで 熱（あつ）いところ 燃（も）える  
だから 君は ほほえんで

そうだ うれしんだ 生きる よろこび  
たとえ 胸の傷がいたんでも

ああ アンパンマン やさしい君は

いけ！ みんなの夢（ゆめ） まもるため」 （『アンパンマンのマーチ』から）

時は早く過ぎ、いずれ光は消えてしまいます。

だから、ほほえみを忘れず、

友達のことを心配する「愛」と

友達の気持ちを考える「勇気」をもって、友達と接（せつ）してください。

この世の中で、最後（さいご）まで残るのは

友達を「思いやる」気持ちです。

友達を「思いやる」とは 今、自分の身近な友達がどんなことを考えているのか

何をしてみたいと思っているのか 想像（そうぞう）する力だと校長先生は思います。

南っ子のみなさん、そんな力をぜひ身に付けてくださいね。